

平成 20 年度市政懇談会会議録【町部地区】

日 時 平成 20 年 8 月 3 日 19 : 00 ~

会 場 市民集会場

参加者 60 人

市長からの市政報告のあと、参加者の皆さまとの懇談(質疑応答)に入りました。

懇談(質疑応答)

柳町 男性

先ほど市長から朝日線 JR アンダー工事について説明がありました。将来像的には、今後有意義な工事だと伺ったわけですが、今の工事が 24 年度に終了された段階では、将来的には都市計画がそこで止まっているのではないかと考えております。私たち今聞いた中では、将来的にはという言葉にはつながらないのではないかとという 1 つの不安があります。将来的に本当に都市計画を、駅北を含めて豊かにしていくには、工事を止めるのではなく、1 号線の方までつなげていくような延長した工事だったら有意義な都市計画の一環になるのではないかと思います。

そして、その工事に伴いまして、ぜひお願いしたいのが、柳町自治会だけじゃなくて、地元住民の意見をぜひ聞いてもらいたい。今考えているのは、工事が終わって供用されたときに、事前情報的には南の方から上ってきたときに、そこに信号を作るのではないかとという風に説明を受けたこともあります。その止まった時に、信号が旭テックの裏側の道路とぶつかったときに柳町の交差点が変則な四叉路になります。南からあがってきた道路は広いけれど、片方が非常に狭い。2 車線通行ができない、交通規則の関係で 2 車線交通が、侵入が規制されるのではないかと伺ったところもあります。

柳町が 1 番最初に交差点を入ってくる柳町への 1 つの入り口ですので、両方向が可能な、アクセスが可能な交差点にして欲しい。もう少し北に伸ばした上で両方向の交差点にして欲しいというのが要望です。

市長

この事業は、菊川の道路事業としましても、掛浜バイパスに続く非常に重要な道路として菊川市では位置づけをしております。平成 3 年にこの事業が都市計画決定されて、もう 20 年近く経つわけであります。320 メートルの区間を総事業費 48 億円、50 億円近くの事業費を投入しまして投資するわけであります

から、当然その投資効果を私たちは考えていかなければならないと思っております。特に、北側の柳町とか潮海寺さんとか堀之内さんとか日吉町、宮前とかの皆さんは関心のあるところだと思います。そういった中で現在は、駅の北側については、駅北開発推進協議会という自主的な組織がありまして、その皆さんといろいろ協議をしながら事業を進めさせていただいております。

現在では都市計画道路として整備する計画はありませんが、当然これからJRアンダーがバイパスとかあるいは西とか東に行く非常に重要な道路になるということは私たちも認識しておりますので、今後もまた地域のみなさんと話し合いをしながら駅の北側の開発あるいは自然保護といったものはきちんと対応していきたいと思っております。

当然道路とかにつきましては、地域のみなさんが行政と公安委員会(警察)と協議をしながら、市民の皆さんにご不便をおかけしないような形でいきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

1丁目 男性

現在の集会場が仮設集会場ということで、後に1号公園になります。その後、今1丁目、2丁目、3丁目、4丁目さんが使っているのですが、どこか別の場所に集会場を建てていただきたいということだと思います。どうお考えでしょうか。

市長

今の公会堂のところは、榎林さんが前に自治会をやっているときに、上本所の仮設住宅を壊すのがもったいないから、公園ができるまでという約束であそこに持ってきています。ですから公園ができるものだから申し訳ないけれども、今度それを取ってもらいたいという話になっておりますので、その点はまずご理解いただきたいと思っております。

それで、町部地区センターもありますので、そういうところをぜひ使ってもらいたいし、公会堂というのはそれぞれの自治会の皆さんが、自分たちで作られているのがほとんどですので、そのルールもありますので、またお話をさせていただきますので提案をされた方には、またお話ししますのでよろしく願いします。

緑ヶ丘 男性

来月また敬老会が開催をされるわけです。皆さんもご承知のとおり少子高齢化ということで、菊川市も例外ではなく、私が平成元年に自治会長をやったときに比べると、緑ヶ丘も今年は5倍の敬老会の招待者がある。長年この敬老会

の施行方法を、やり方を一度見直したらどうだということで、私は前から考えておるのは、成人式のように、例えば、現在は76歳からの方を対象に敬老会に招待をされておるようですが、77歳の喜寿の人たちだけを対象にして、1回だけやる。成人式のように1回だけにして後はやらないというようにしたらどうかということです。今、お年寄りには政府の後期高齢者医療という非常にお年寄りにとっては条件の悪い、評判の悪い制度ができていますので、またそこで敬老会を77歳1回だけにするとお年寄りから文句がでるのではないかと思います。そこで私は、77歳のときに招待された以降は80歳の傘寿、88歳の米寿、90歳の傘寿、100歳の百寿というお祝いの時に限って招待状を出すというようにして、それ以外については現在のようにお祝いに該当しなくても76歳以上になると毎年招待状をいただいてご馳走になるということでは、あまりにも旧態依然としておる。したがってこの辺で一度見直しをしていただいたらどうでしょうかということで提案しました。

市長

大変貴重なご提案ありがとうございました。高齢化率という話がありましたが、私どもが調べたところ昭和30年に菊川町が誕生したときは75歳以上の方が全部で441人。それが菊川地区だけで今年3,255人。かなり元気な高齢者が多いということが数字からもわかると思います。今お話がありましたが、一方では、敬老会を非常に楽しみにしている方がいることも事実。それから、ある面では、メリハリをつけてやった方がいいという意見もあるということも事実。対象年齢を毎年1歳ずつあげていったらいいじゃないかという意見もいただいております。

しかし、今お話にありましたように、簡単にこうしましょうということもなかなかできないと思いますが、今のお話はとても貴重なご意見だと思いますので、また関係する団体の皆さんにそういった提案があったことについては、お話ししたいと思います。この場で私がわかりましたということができませんので、その点をご勘弁いただきたいと思います。

柳町 男性

学校の施設、行政で教育に関する施設に目を向けてもらいたい、そういう時期がきていると思います。現実にはっきり言いますと、退任された前の堀之内小学校の校長先生と話しをし、学校の体育館を除いて、周りに施設リニューアルを、ちょうど1年前のことですが、私がボランティアという形で7月から12月にかけて、こつこつと学校の先生にもお手伝いをしてもらってリニューアルした。学校のほうは生徒も先生も喜んでくれていますので、まだまだ学校の中

の施設に行政が目を向けてもらいたいということが課題ではないかと思いません。堀之内小学校に限らず、加茂小学校もボランティアで12月から3月、4月にかけて校長先生と話をし、無料奉仕でやらせてもらいました。無報酬という形で動きました。ですから、まだ学校が4校あると思いますが、いろんな学校もそろそろ手を入れる時期にきているのではないかと考えております。

それともう1つですが、菊川の駅を利用しているもので、駅前の広場が充実した形で動いてきていることは、私も駅を利用しているのでわかるのですが、トイレのことで、駅の中のトイレを使わないで、駅の前にも公共のトイレを作ってもらいたいという気持ちがあります。

市長

当然、校舎の老朽化やプールとか体育館とかいろいろあります。そういった中で、教育委員会で何を優先的にやるかということの中で、今言ったように堀小ではプールをやってくださいということでもやりました。西中においても、プールをやることによってテニスコートもとか話しが出てくる。各学校から要望を受けてやっております。また大きな校舎を作るとか体育館を作るとかというのは、市内に3つの中学と9つの小学校があります。幼稚園も保育園もありますから、それは10ヵ年計画の中で、順次毎年1つとか、あるいは2年に3つとか計画をたてております。これで1つの新しい実施計画というものを今年、来年作りますから、そうすれば堀小の体育館を何年後にやろうかという計画がある程度具体的になると思います。

それも全て財政計画、特にこの3年間は行財政改革をやりまして、借金があまり多くなると借り入れができなくなるとか、非常に地方分権、三位一体改革の中でいろんな数値を出せということでもやってきましたが、今年どうか、この3年間市民の皆さんにご協力をいただく中で、借金が200億あったものが、だんだん減る目途が出てきましたし、あるいは財源の確保が先ほどの企業誘致とかで出てきましたので、ある程度これから投資的なものに向けられると思います。

もう1つのトイレの問題ですが、これにつきましても前向きに検討して、駅を使っただけの方、あるいは駅広を使ってくれる方が、中ではなく外で使えるように検討していますので、決まりましたら、広報きくがわや駅南だよりなどで報告させていただきたいと思えます。

堀之内地区会長

合併されて4年間たって、今、住民サービスを含めて少し質問させていただきます。菊川の場合は、たまたま小笠と菊川の2町の合併でした。これが3町、4

町としての合併だった場合、中央管理型になって、住民サービスがされているだろうかと考えました。例えば、教育委員会が今、南にあります。施設管理課がこちらの本庁にあります。例えば、私たちが何かを今日やりたいということ、施設管理課に行って尾花のグラウンドを借りたいとすると、じゃあ物はというと小笠へわざわざ行かなければならない。空いていることも全部確かめなければならぬ。これを1つのコンピューター、パソコンを見ることによって、それが全部覗けるわけです。そこで予約をし、管理もでき、そして水平展開もできる。そういうことになれば、小笠の方に住んでいる人がわざわざこっちにこなくてもいいし、こっちの人が向こうに行かなくてもいいようになる。こういうシステムは作るべきではないかと思う。同時に他のことでもそうですが、支出管理等についても水平展開もできる。よその課のものが全部覗けるわけですから、当然そうなれば今どんな財政状況でどんな支出をして今、目標管理的にはどこまでいっている、そうすれば当然その管理ができることによって、財政の投資額についてもきちんとした形でできてくる。職員がやはりいろんな形の中で、隣のものが見えてくることによって、見せられるわけですから、その課の人たちもしっかりやっていかないと見せられませんか。そうすれば質の向上につながってくる。特に2町だったのでたまたま支所という簡単な形で出来ましたが、もし大きな組織になっていると中央管理型みたいな形で行っていかないと、なかなかその部分はうまくやっていかないのではないかと思う。もう1度その部分を考えてもらって、やっぱりどこがイニシアチブをとるかということではなくて、どういう形でシミュレーションしたら水平展開がうまくいくかを考えていただきたいと思います。

先ほど、市長から環境問題についてお話がありました。環境問題の中にはゴミだけでなく、住環境整備、あるいは自然環境整備等があるわけです。特に菊川の場合には、河川の部分については、まだまだきちっとされておりません。環境整備がなされているとは決して言えないと思います。また、住宅環境については、私どもの地域はたまたまありがたいことに環境整備がされている。しかしながら、まだまだいたってないところがたくさんあります。同時に公園あるいは施設等々についての管理も、やっぱり環境整備としてとりあげるものによって、ここにお住まいの皆さんからお年寄りの皆さんまで快適に過ごせる環境をきちっと出していくべきではないか。このことによって住んでいただける、住みたくなるまちになる。こんな風に私は思っております。ぜひそういった観点の中で環境整備についても前向きに検討していただきたいと思います。

市長

まず合併してのいろいろな施設的なものにつきましては、今、お話があった

ように本庁と支所がありますし、消防も本署と分遣所がありますし、あるいは教育委員会は別ですが、全てが一箇所に統合できないというものがあります。これはそれぞれ2つの町が一緒になった訳ですから、いっぺんに1つにすることがなかなか出来ないというものがあります。当然そういうものにつきましては、電算システムとかを使いまして市民に迷惑をかけないように、予約システムとか電算システムとかは、きちっと対応していきたいと思っております。特に2つの町が一緒になったわけですから、同じ1つのことをやるにしても、菊川の職員と小笠の職員とやり方ことも違います。また考え方も違うわけですが、その考え方が3年目、4年目あたりから、かなり情報管理ができてきたと思います。ファイリングシステム、情報を共有化しようということで、ファイリングシステムをする中で情報を正確に的確にスピードアップして出せるというシステムを導入しております。これからも市民の皆さんに要望に応えられるような予約システムとか情報管理というものをきちっとしていきたいと思っております。

環境につきましては、今言われたように水につきましても、菊川の水は完全にきれいになっているわけではありません。その中で今、菊川では、合併浄化槽と公共下水という2つを菊川市内の中で、どのように住環境整備の中で位置づけていくか内部で検討しております。旧の菊川の方は、今、公共下水のところで合併浄化槽のゾーンがありますし、小笠の方は、公共下水の区域がありませんので、公共下水も考えていただきたいという話もありますし、公共下水は非常にお金がかかるので、これからは合併浄化槽でやっていってはどうかといういろいろな意見がありますので、環境行政として、菊川市として、それはきちっとこれから方向を出していきたいと思っております。

また公園につきましては、今、市内でもいくつか区画整理をやっておりまして、1人あたりの公園の面積はかなり広いと思っております。しかし、公園の管理というものが、非常に広がってきますと、管理が行き届きになるということになりますので、これからは、管理の仕方というのは地域の皆さんに応援をしていただいて、やっていくような形もこれから取り入れていかなければならないのかなと思っております。

先ほどお話ししましたように、菊川に住めば環境がいいし、ぜひ菊川に住みたいというまちにしていきたいと思っておりますので、いろいろとご指導いただきたいと思っております。

堀之内地区会長(再質問)

その中で特にお願いしたいという要望ですけれども、ここの中で出先の活用、いわゆる今は本庁と支所、そうじゃなくて、例えば牧之原の人が、わざわざ小笠の方あるいは本庁まで来なくても、そのところで何かができるというよ

うな出先の活用を考える。地区センターでもいいですし、いろんな形であると思いますので、そういう施設のところに何か住民サービスが充実できるような活用方法を考えていただきたいというのが1つ。

それから、書類等についてもワンペーパー方式は入れないとダメなんですよ。何か書類を作らせると100枚、200枚ざらに作ってくる。結果的に余ってしまい捨てちゃうことが多い。こういうことも無駄ですから、そこらもきちんとさせて、必要な枚数、必要なものを書けということを少し考えて、これもお願いしたい。

環境の関係で、ため池等もありますけれども、硝酸性窒素が入っているから悪いことではないけれども、そういう状況の中で、緑ですごくきれいだねという人もいます。しかし、魚が住めない。自然環境が結局破壊されているわけです。そのところにつきましても、今後の中で、今日お答えいただかなくても結構ですので、少し考えていただいて、本当にやっぱりそういうところでも魚釣りが楽しめたり、子供たちが楽しめたりするような環境整備を考えていただきたいと思います。

宮前 男性

JR下を通っている排水溝が2箇所しかなくて、スケールが小さいものから、ちょっと雨が降ると、家の前の交差点から原田さんの家の前を通って、あの通りが冠水する。それを解消するために、排水路をもう1本つけるか、今のものをちょっと大きめに変えてもらうかお願いをしたい。

市長

杉山さんが言われたところは、数年前に調整池でやったけれども、JRのところは2本しかないものだから、上流部がオーバーフローしてしまう。それは地元の議員さんからも話を聞いておりまして、西通りの方もそういった話が出ていまして、下に行くと5丁目の方からも出ていまして、ずっと出ていますので今、9月補正で対応させてもらいたいと思っております。また、そのときには宮前、西通り、5丁目の皆さんにはまた話をさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いしたいと思います。

男性

先日の中日新聞にレジ袋有料化という記事が出ていました。菊川はいつからそういうことになるかなと関心を持っていたわけですが、10月頃から実施と新聞に書いてありました。そこにいくまでの課題というか問題点と実施していったときに、この場では言えないかもしれませんが、市内のスーパーがいくつか

ありますが、その中でほとんどが入っているのか、皆さん関心があると思いますのでその点と、それから、この問題は市民のお母さん方とか皆さんの協力がなくともうまくいかないと思いますので、PRをどのようにしていくのか。広報に載せるとか、もっと宣伝的に上手にのせるのかそこの点について聞かせていただきたい。

市長

レジ袋有料化については、10月1日から6店舗、最初に協力していただいた店舗が、静鉄さんが3店舗と、ママさんと、ラックさんと、オカノさんの6店舗が最初に協力していただけることになりました。もっとたくさん声をかけたのですが、いろいろな事情があるものですから、10月1日から有料化というものに協力いただきました。

次の日に御前崎市が始めるという記事が出ていましたが、1つ感じられたと思うのが、菊川市のマイバック率が50%、御前崎市さんは20%です。数年前に菊川市では「きれいなまちにしよう会」というところがマイバック運動をやっただけで、その効果が非常に出ておりまして、菊川市のゴミの排出が少ないということで感謝しております。ここにきましてゴミが少し増えそうでしたので、市民の皆さんにもご理解いただきまして有料化ということにさせていただきました。今までは市が2円出しまして、スタンプを集めると1枚100円というようなのがありましたが、今度はそれをやりません。これからは、それぞれの店舗でどのようなサービスをするかというのは自主性にお任せするというので今回やりませんが、このような形でスタートさせていただきます。

PRにつきましては、広報で出させていただきます、またノボリも作らせていただきまして、その店舗にノボリを出させていただきたいと思っておりますし、当然これからも市として環境に協力していただける店舗につきましては、PRをきちっとして、ハンデが出ないように対応をさせていただきたいと考えております。